



## I. 地区概要

本地域は、岡山県の中央にある吉備中央町の北東部に位置し、標高200～400mの高原地帯で、高原特有の冷涼で昼夜の温度差のある気候と土質が相まって、高原野菜や果物栽培が盛んな地域。専業農家や農業後継者も比較的多いが、農家の高齢化・過疎化が課題。



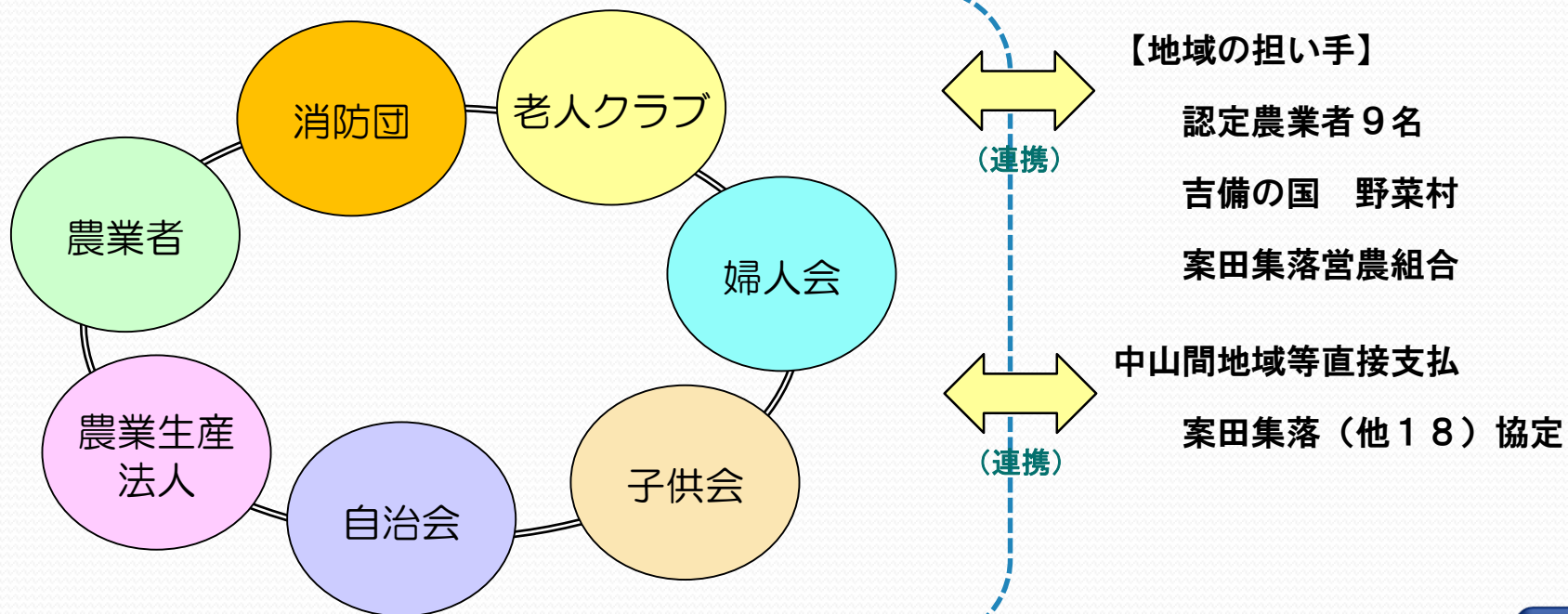
活動エリアの風景

## II. 組織設立の経緯

平成19年度から平成27年度まで5つの組織で活動していたが、老朽化した畑地かんがい施設の維持管理及び安定的な営農環境を守るため、平成28年度より広域組織として活動を実施。

## Ⅲ. 組織の概要

- 取組活動 農地維持支払、資源向上支払（共同活動、施設の長寿命化）
- 認定農用地面積 162.11ha（田:88.82ha、畑:73.29ha）
- 組織構成 4集落（農家数=205戸、農家以外=36戸）
  - ・ 農業者、農業生産法人、自治会、子供会、老人クラブ、婦人会、消防団で構成



## IV. 活動の内容

### 1. 農地維持支払

#### ○ 地域資源の基礎的な保全活動

地域ぐるみで水路の泥上げ、清掃、ため池及び進入道路の草刈り、異常気象後の見回り等基礎的な活動を実施。

また、遊休農地発生を防止するため、農業生産法人と連携し、6haの農地において農薬の少ない健康野菜を栽培することで、6次産業化への支援と共に農地集積に繋がっている。



水路の泥上げ作業

#### ○ 地域資源の適切な保全管理のための推進活動

行政と地域住民が連携し、農林業体験宿泊施設で地域の産物を生かした田舎暮らし体験ツアーに取り組み、毎回30名程度が体験ツアーに参加。活動組織の構成員は収穫体験の指導や交流を通じて、農村で働く魅力や面白さを知ってもらい、地域の活性化を担う人材確保を進めている。



意見交換が行われた交流会

## 2. 資源向上支払

### ○ 共同及び長寿命化の活動

農業用水路、畑地かんがい施設、農道の舗装などの補修改良等、また農用地、水路、農道、ため池の点検・機能診断を実施し、施設の適切な改修を行うことにより、適正な維持管理及び持続的な営農が図られている。



畑地かんがい施設の補修



畑地かんがい施設の防食対策



農道の補修

### ○ 農村環境保全活動

自治会、子ども会、老人クラブとの連携により、地区内の清掃活動や主要道路沿いへの花の植栽(約2km)を行っている。



地域住民と農道沿いに植栽

## 2. 資源向上支払

### ○ 多面的機能の増進を図る活動

地元小学生を対象とした農業体験学習では、活動組織の構成員が講師となり、円城白菜の栽培方法や料理方法などを教えている。この取組は平成28年度で13回目となり、毎年10名程度の児童が参加。特産品のキムチ作りや円城白菜の栽培・収穫・販売を行い、伝統・文化の継承に取り組んでいる。



円城白菜の苗植え



←円城白菜の収穫



小学生による  
円城白菜の販売→



特産品のキムチ作り

## V. 活動による効果 (成果と将来の姿)

- 平成29年度までに20haの経営規模を計画する地域内の農業法人と農地集積を連携し、14haの遊休農地を再生再開。
- 円城白菜の体験学習は、地域新聞で毎年記事として掲載され農村地域の活性化に貢献。
- 田舎暮らし体験ツアーや体験学習など地域独自の取組が貢献し、岡山市のアンテナショップでは、地域の産物の売上額が年々増加。
- 広域化により農地維持活動の大型機械化が進み、構成員の負担軽減。さらに、組織に専任事務を設置し、組織体制を強化。



大型草刈機による遊休農地の管理



円城蜜芋を使ったお菓子で6次産業化